

レジライニング#50HR上塗

1. 一般名 ビニルエステル樹脂ガラスフレーク上塗塗料（ビスフェノール系／ノボラック系併用型）
2. 規格 危険物保安技術協会
3. 特徴 1) ガラスフレークと特殊合成樹脂との組合せにより優れた防食性を発揮する。
2) 密着性が良好で熱ショック、クラックや剥離を起こさない。
3) 冬期でも短時間で良好な硬化塗膜が得られ、作業性が良好である。

4. 塗料性状

項 目	内 容
容姿	2 液性（主剤、硬化剤）
荷姿	（標準）16.16kg セット （主剤:16kg、硬化剤:0.16kg） （冬期）16.32kg セット （主剤:16kg、硬化剤:0.16kg×2）
色相	ライトグレー、白、クリーム
密度 (23℃)	塗料 1.22（ライトグレー） 揮発分 —
加熱残分	100%（ライトグレー）（理論上）
乾燥時間 (主剤 100)	温度 5℃* 10℃* 20℃ 30℃ 硬化剤量 2 2 1 1 半硬化 18 時間 12 時間 6 時間 3 時間
標準膜厚	310 μm
引火点	SDS 参照
発火点	SDS 参照
爆発限界(下限～上限)	SDS 参照

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

* 印の温度の場合の混合比率は、主剤／硬化剤＝100／2

5. 塗装基準

項 目	内 容
素地調整	—
調合法	主剤 100、硬化剤 1～2（重量比）
可使時間 (主剤 100)	温度 5℃* 10℃* 20℃ 30℃ 硬化剤量 2 2 1 1 時間 7 時間 4 時間 2 時間 1 時間
使用希釈剤	レジライニング反応性希釈剤
洗浄用シンナー	レジライニング洗浄用シンナー
塗 布 法	塗装方法 エアレス塗装（刷毛塗り、ローラー塗装） 希釈率 2%以内 標準使用量 0.76 kg/m ² 標準膜厚 310 μm ウェット管理膜厚 400 μm
エアレス塗装条件	1 次圧 0.5MPa (5 kg/cm ²) 以上 2 次圧 20MPa (200 kg/cm ²) 以上 ホ ン プ 比 45:1 以上、塗 料 - ス : 3/8 インチ (3 フ) チップ No.163-529~635
塗装間隔	温度 5℃* 10℃* 20℃ 30℃ 最小 24 時間 18 時間 10 時間 5 時間 最大 20 日 20 日 20 日 15 日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

* 印の温度の場合の調合法は、主剤／硬化剤＝100／2

6. 施工上の注意

- 被塗面の油、湿気、じんあい、その他の付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態としてから塗装する。
(施工温度により混合比は変動する。)
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使い尽くす。
- 希釈剤は必ずレジライニング反応性希釈剤を使用する。他のシンナーを使用した場合硬化不良を起こす。
- 洗浄シンナーは微量でも塗料中に混入すると硬化不良を起こすので注意する。
- 貯蔵有効期間 4 ヶ月以内に使用する。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第 4 類第 2 石油類	第 5 類第 2 種自己反応性物質 有機過酸化物
有機溶剤区分	第 2 種有機溶剤含有物	—
有害物質表示	SDS 参照	SDS 参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDS をご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。